

令和6年2月20日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）県立学校の暑さ対策に係る断熱の実施について

現在、県立学校においては、県立学校施設長寿命化方針に従い改修が行われているが、それと同時に断熱を実施し、昨今の温暖化にも対応した設備整備を行ってはどうかと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

県立学校施設の長寿命化改修におきましては、児童・生徒等の安全・安心を確保することを最優先に、整備を行っているところでございます。

こうした中で、仙台市など、一部の自治体において取り組まれている学校施設の断熱化につきましては、

- ・ 教室の天井や壁への断熱材の追加、
- ・ 窓の複層化

などを行うことにより、暑さの軽減や、電気使用量の縮減といった効果があり、二酸化炭素の排出量削減にもつながるものとされております。

本県におきましては、一部の学校において、屋上への断熱材の敷設等を実施しておりますが、御指摘の学校施設の断熱化には、多額の経費が必要になることから、教育委員会といたしましては、

- ・ 取組が進められている自治体における電気代などの長期的なコストの縮減効果や、
- ・ 学校施設の断熱化に係る地方財政措置の動向

などを注視してまいりたいと考えております。